

公益社団法人日本ライフル射撃協会  
2023年度第5回理事会議事録

日時：2024年2月25日(日) 13:30~16:30

場所：NTC イースト会議室 BC 及びオンライン会議 (Zoom)

出席者 (\* テレビ会議による出席)

松丸喜一郎会長 \*田村恒彦副会長 \*横山幸子副会長 橋本聖子副会長 平眞専務理事  
大野明敏常務理事 三木容子常務理事 平井宏治常務理事 佐橋朋木常務理事  
成山悟史常務理事 田中僚一郎理事 \*田口亜希理事 松島愛理事 \*酒寄貴瀬理事  
穂苅美奈子理事 \*粟生由紀理事 \*寺澤良悦理事 横沢聡理事 尾崎和郎理事  
高橋信吾理事 青木満博理事 仲本渚理事 五十嵐治人理事 \*田中辰美理事  
\*堀水宏次郎理事

岸高清監事 永谷喜一郎監事

理事：総数27名中、以上出席25名(内、橋本聖子副会長、松島理事は遅れて参加)

監事：総数2名中、以上出席2名

議事録署名人：

松丸会長、田村副会長、横山副会長、橋本副会長、岸高監事、永谷監事

平専務理事が13時33分に理事23名出席で成立するとの宣言をした。

議長：代表理事 松丸喜一郎

事務局が、オンライン会議システムにより、出席者の音声即時に双方向に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認して議案の審議に入った。

## 1 会長あいさつ

理事会の開催日を今回も変更したことをお詫びしたい。ISSFの臨時理事会と重なったためである。今後は、緊急な理事会等が入り本会理事会を欠席する場合は、議長を3名の副会長または専務理事に任せ、会長が欠席した形にて理事会を実施する。

理事会の審議に先立ち、全日本ライフル射撃競技選手権大会(50mライフル共生)のカップを寄贈いただいた松丸会長から男女総合で優勝した岡田直也選手へ贈呈した。

## <審議事項>

### 2 総務委員会

#### 2.1 2024年度予算

平専務理事が説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

#### 補足説明

- 2024年度予算は約300万円の赤字(2023年度予算は約2000万円の赤字)で、前年度より1700万円改善した。
- 石川県へ本会からも義援金を50万円拠出することが盛り込まれた。その際に、石川県ライフル射撃協会の丸山理事長より、能登の状況について次のとおり報

義援金への声掛け、励ましの言葉など感謝申し上げる。同県協会員に大きな事故はなかったものの、志賀町にある志賀高校射撃部では活動を休止していた。石川県は、能登地方を含む復旧と支援に全県が取り組んでいる。ライフル射撃活動は2月に再開できたが、県内のスポーツイベントは影響を受け、中止になるものもある。今年開催予定の北信越大会を成功させるため、関係者は努力している。

#### 質疑応答

- コーチ力強化の700万の用途は何か。(大野常務理事)  
→外国人のコーチの移動、宿泊費用である。(佐橋選手強化委員長)

#### 2.2 2024年度事業計画活動方針

平専務理事が説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

#### 2.3 ふるさと納税実質負担ゼロの方針と条件

平専務理事が説明し、訂正を反映した内容で理事会によって承認された。

#### 補足説明

- 法的な確認を行い、功労金とすれば問題ないことを確認した。

#### 訂正

- 「日ラへの」を「新宿区への」に訂正する。

#### 2.4 令和6年度JOC国際人養成アカデミーの受講者

藤井彌国際部会長が説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

#### 補足説明

- 栗生理事は、12月にミュンヘンで開催されたISSFワークショップに参加している。同アカデミーを受講し、日ラの顔となって活躍してほしい。(松丸会長)

3 推薦委員会 審議事項なし

4 国体委員会 審議事項なし

#### 5 選手強化委員会

##### 5.1 2024年度アスリートパスウェイ要綱

佐橋選手強化委員長が説明し、訂正を反映した内容で理事会によって承認された。

#### 補足説明

- 基準点は、ワールドカップの8位入賞相当。

#### 訂正

- 第5条3項「12歳から19歳まで」を「13歳から21歳まで」に訂正する。

- 第5条4項「12歳から21歳まで」を「13歳から21歳まで」に訂正する。

#### 質疑応答

- T4で「委員会に指名されたもの」とある。委員会を開催して指定したのであれば、いつ行なった委員会で指定したのか、報告してほしい。(大野常務理事)  
→承知した。(佐橋選手強化委員長)
- JOC ジュニアは、T3トップのジュニアへの予算である。FTEMの制度でT2以下に予算を集中し、ブロックで発掘出来る体制を作りたい。(松丸会長)
- →承知した。(佐橋委員長)

#### 5.2 2024国際大会・海外派遣選手選考要綱

佐橋選手強化委員長が説明し、訂正を反映した内容で理事会によって承認された。

#### 補足説明

- アスリートパスウェイ要綱に基準点をあわせた。
- リマ大会は、遠方であることから、派遣人数を制限している。台北のグランプリに多くの選手を派遣する。
- ユニバチャンピオンシップでは、団体優勝を狙う。

#### 訂正

要綱の「40位以上」を全て「40位以内」に訂正する。

#### 質疑応答

- 団体の3人目の点数が低い。目標を持てるコーチングをしてほしい。(大野常務理事)  
→承知した。(佐橋選手強化委員長)
- ターゲットスプリントは、出場するのか。(仲本理事)  
→2025年度以降で出場するかどうか検討する。(佐橋選手強化委員長)
- 第4条の選考方法について、選考対象選手であれば、選考会で一番高い点数を撃った選手が選ばれるという事なのか。(松丸会長)  
→強化指定選手ではない選手がA,B基準を満たす事なく選考会で1位だった場合、同選考会に出場した強化指定選手が選ばれる。(佐橋選手強化委員長)

#### 6 競技運営委員会

##### 6.1 公認審判員

三木競技運営委員長が資料とともに説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

##### 6.2 日本記録

栗生部会長が資料とともに説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

##### 6.3 射場公認

三木競技運営委員長が資料とともに説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

#### 6.4 国内共生ルール

三木競技運営委員長が資料とともに説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

##### 補足説明

- 2024年度は、トライアルで行う。(三木競技運営委員長)
- 共生ルールの大会に参加していただき、問題があれば競技運営委員会へ伝えて、整備していきたい。柔軟に適用していただきたい。(成山常務理事)

##### 質疑応答

- 編みかけ部分が健常者向けの変更箇所か。  
→そのとおり。(三木委員長)
- ロードーは、国内大会では現在でも設置出来ないのか。  
→現在は、出来ない。国内で行う国際大会限定で可能である。(岸高監事)  
→一定の要件を満たせば(国際大会ではない)国内大会においてもロードーを設置出来る形で警察庁と検討をすすめている。要件をパラ射連がまとめている。(田中辰美理事)
- →警察庁との交渉結果を共有してほしい。(松丸会長)

#### 6.5 2024年度競技会計画

三木競技運営委員長が資料とともに説明し、議長が理事会に諮り、修正した案の通り理事会によって承認された。

##### 修正

- リマ(ペルー)の日程を9月26日から10月7日までに更新する。

##### 質疑応答

- 2023年8月に行ったメモリアル大会はどうなったのか。(松丸会長)  
→G3として開催する。小中学生はメモリアル大会とわけて、12月にNTCで行う。(三木委員長)
- アーチェリーでは、マスターズイベントが行われている。2025年度は、日ラ主催でマスターズイベントを考えてほしい。(松丸会長)  
→承知した。(三木委員長)
- ISSFのウェブサイトにおいて、リマ(ペルー)で行われるジュニア世界選手権の日程が変更になっているので、競技会計画を更新すること。(佐橋常務理事)  
→承知した。(三木委員長)

#### 6.6 SIUS レンタル廃止

三木競技運営委員長が資料「6.0」とともに説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

#### 6.7 TD名簿

三木競技運営委員長が資料とともに説明し、議長が理事会に諮り、訂正を反映した内容で理事会によって承認された。

##### 訂正

- 47を「浜田 博行」から「田村 達」へ訂正する。

##### 補足説明

- 推薦名簿が届いていないTD講習参加者がいる。出していない加盟団体が7団体ある。再通知をする。出していないところは、書類が揃い次第、次回の理事会で審議する。

#### 7 普及・生涯スポーツ委員会

##### 7.1 認定コーチについて

成山普及・生涯スポーツ委員長が資料とともに説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

##### 質疑応答

- FTEMにおける、NFコーチはコーチを指導する立場のコーチであるのでPFコーチとは謝金も異なる。協会の認定コーチ資格は、指導するNFコーチが教わる側であるPFコーチよりも高位であるべきところ、事業報告ではNFコーチがPFコーチより下位の資格であった。今後このような逆転が無いように是正してほしい。(松丸会長)  
→選手強化委員会にて共有した。(佐橋選手強化委員長)

8 マーケティング委員会 審議事項なし

9 コンプライアンス委員会 審議事項なし

10 アスリート委員会 審議事項なし

##### <報告事項>

#### 11 会長報告

##### 11.1 愛知名古屋アジア競技大会

松丸会長より、2026年開催予定の愛知名古屋アジア競技大会について、次のとおり状況報告があった。

組織委員会による説明会が開催され、その内容は今後、準備室から理事会に報告されることとなっている。組織委員会は、ファイナルホールの恒久設置を県に依頼していることが明らかにされた。アジア競技大会全体を通じて、他の競技に関しては仮設施設の使用や既存施設の修理・修復が行われるが、恒久設置が行われるのはこのファイナルホールのみであるとのこと。

##### 11.2 優勝カップの新調

冒頭の会長挨拶の際に、新しい優勝カップが松丸会長より紹介された。

### 11.3 ISSF 臨時理事会報告

松丸会長より、ISSF 臨時理事会について以下の報告があった。

会議は ISSF 会長の母国であるローマで開催され、主な目的は専務理事の選出であった。解任された前事務局長のヴィリー氏の後任として、会長顧問を務めていたアレッサンドロ氏が就任した。解任理由については言及を控える。また、会議には IOC のキット・マコーネル氏も出席し、IOC による e スポーツ振興への意欲が表明されたほか、フォートナイトを使用した ISSF の参加に対し謝辞が述べられた。

## 12 総務委員会

### 12.1 2023 年度モダナイズ部会報告

谷川モダナイズ部会長より報告があった。

#### 補足説明

- 具体的な効果を確認し、承認を経てすすめたい。現在のシステムは、会員の推薦に関する利便性は上がったが、事務局や委員会の工数削減には至っていない。(松丸会長)
- 会員登録業務は、NF 共通でかかえている課題である。(橋本聖子副会長)

#### 質疑応答

- 相見積りを取る。また、各 NF が何を使っているのかを調べる。パッケージを導入する場合は、仕事にパッケージをあわせるのではなく、パッケージに仕事をあわせること。また、業者に訴訟件数を教えてもらうこと。開示を依頼すれば、必ず公表する。(永谷監事)  
→承知した。(谷川モダナイズ部会長)

## 13 推薦委員会報告

### 13.1 審査結果

大野推薦委員長より資料とともに報告があった。

#### 補足説明

- 雷管や弾薬が(日本で)手に入らなくなっている。大会出場に支障が出てきている人もいる。(大野委員長)

#### 質疑応答

- ラプア弾薬不足は、深刻な問題である。協会として解決を検討してほしい。(永谷監事)  
→今後も状況が改善されない場合は韓国やクウェートに状況を確認して、IF に措置を依頼する。(松丸会長)

## 14 国体委員会報告

### 14.1 鹿児島特別国体アンケート結果

平井国体委員長が資料とともに報告した。冒頭、鹿児島からの感謝の言葉が述べられた。

### 14.2 佐賀リハーサル大会アンケート結果

平井国体委員長より資料とともに報告があった。

### 14.3 佐賀国スポ大会要項と K カード

平井国体委員長より資料とともに報告があった。

## 15 選手強化委員会報告

### 15.1 2024 年度 FTEM Foundation ・ Talent toto 事業に関して

佐橋選手強化委員長より資料とともに報告があった。

#### 補足説明

- Foundation は、国際大会を目指す意思がある選手である。

### 15.2 JOC エリートアカデミー第 17 期生の決定について

佐橋選手強化委員長より資料とともに報告があった。

### 15.3 ASC アジア選手権ジャカルタ大会結果報告

佐橋選手強化委員長より資料とともに報告があった。

### 15.4 ISSF ワールドカップカイロ大会結果報告

佐橋選手強化委員長より資料とともに報告があった。

## 16 競技運営委員会報告

### 16.1 電子標的の再公認の報告

三木競技運営委員長より資料とともに報告があった。

#### 補足説明

- 検定を合格しなかった標的は、公認から外す事を徹底して頂く。(藤井彌事務局長)

#### 質疑応答

- 日ラは、検定された標的の数に応じて作業料を支払い、また、公認された標的の数に応じて申請者から公認料を受け取る制度を取っている。新規公認から 17 年以上経過した電子標的に関しては、全標的が検定対象となるため、公認数が作業数を下回り、日ラとしてはマイナス収支に陥る可能性がある。このマイナス収支の状況を維持して進めることは適切か。(藤井彌事務局長)  
→マイナス収支で進めて良い。(尾崎認定部会長)  
→検定では精度が不安な標的は避けて精度確認を行っている実態があると聞いた。銃検では厳しいチェックを行なっているにも拘らず精度が担保されていない標的を使用することがあってはならない。標的の精度チェックはしっかり

やって欲しい。(松丸会長)

## 16.2 ISSF ワークショップ参加報告

粟生理事より資料とともに報告があった。

## 16.3 競技会補助に関する今後の考え方について

三木競技運営委員長より資料とともに報告があった。

### 質疑応答

- 補助対象となる G1, G2 の選定基準を明確にして選定すること。(松丸会長)  
→承知した。(三木競技運営委員長)
- 主管が日ラの規程に基づき日当を支給する G1・G2 大会(日ラ主催)の場合、日当から源泉徴収して支給する必要があるかどうかを税理士に確認すること。  
(岸高監事)  
→承知した。(藤井事務局長)

## 16.4 公認記録の要件周知と射撃場の現状調査 要約資料参照

三木競技運営委員長より資料とともに報告があった。

### 補足説明

- 試合では公認標的であることを確認して実施することを周知する。(三木委員長)

## 17 普及・生涯スポーツ委員会

### 17.1 スポーツ射撃体験会 実施状況

成山普及・生涯スポーツ委員長より、資料に基づいて報告があった。

### 補足説明

- 体験射撃会を各ブロックで開催し、Foundation に繋げていきたい。(松丸会長)

## 18 マーケティング委員会報告 報告事項なし

## 19 コンプライアンス委員会 報告事項なし

## 20 アスリート委員会 報告事項なし

## 21 会務報告

### 21.1 デフリンピックの東京都スポーツ文化事業団からの依頼について

藤井彌事務局長より、東京都スポーツ文化事業団から、2025年にNTCで開催されるデフリンピックへの協力依頼が2月19日に文書で届いたとの報告があった。

## 22 その他

### 22.1 あべ文部科学副大臣からの空気拳銃に関する問い合わせについて

2024年2月19日、NTCにおいてあべ副大臣が射撃場を訪問し、佐橋選手強化委員長と施設の見学を行った。この際、空気拳銃の競技における許可枠が500人に設定されている理由に関する質問が提起された。あべ副大臣は、スポーツの底辺拡大に関する強い関心を示し、その背景について詳細な説明を求めた。この問い合わせはスポーツ庁を通じて我々に伝えられた。(佐橋常務理事)

### 22.2 パリ大会へ向けた NTC の宿泊利用制限について

佐橋選手強化委員会委員長より、4月からパラリンピック終了まで、NTCの宿泊施設は協会が指定したオリンピック候補選手(強化指定選手)のみが利用できることが報告された。また、練習施設への入館は、協会が承認した者のみであることを報告した。

### 22.3 ホームページについて

松島理事より、ホームページへの掲載事項について、以下の提起があった。

- オリンピックなのだから、国際試合のページにリアルタイムで結果を掲載してほしい。
- 震災義援金のニュースが他のニュースに埋もれてしまっているのもっと見やすくしてほしい。

### 22.4 デフ射撃選手による NTC 利用について

田口理事より、JPC からパラ NF に対し、パリ大会終了後、NTC をデフ選手が使用できるようにするとの連絡があったことが報告された。また、NF はデフ選手の施設利用を調整する必要があることが報告された。

### 22.5 橋本聖子副会長からの挨拶

橋本聖子副会長は、理事会による自身の副会長職への復帰決定に対し、深い謝意を表した。また、橋本副会長は、銃を使用するスポーツに対する国の支援の重要性について言及し、これを促進していく意向を示した。

以上各業務執行理事より職務執行の状況報告があった。

16時30分議長が閉会を宣言した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席した代表理事および監事が記名押印する。

2024年2月25日

議事録署名人  
公益社団法人日本ライフル射撃協会

議長・代表理事 松丸喜一郎

松丸喜一郎



代表理事 田村恒彦

田村恒彦



代表理事 横山幸子

横山幸子



代表理事 橋本聖子

橋本聖子



監事 岸高 清

岸高 清



監事 永谷喜一郎

永谷喜一郎

